

今後の対応方策

課題 1. 時代を支える担い手農業者の育成

(対象：吾妻農業事務所普及指導課)

- 1 重点課題で「担い手の確保・育成」に関することを課題化し、就農準備から就農、その後の営農指導等、新規就農者が早期に自立・定着するための支援に関係機関と連携して取り組んでいきます。
- 2 目標設定根拠を明確にするとともに、具体的な支援内容を明記します。
- 3 他地域と情報共有を行いながら、中之条町農業担い手受入れ協議会のような取組を他地域にも拡大していきます。

課題 2. 吾妻西部地域における主要高原野菜の持続的生産技術の推進

(対象：吾妻農業事務所普及指導課)

- 1 引き続き、重点課題で「吾妻西部地域の野菜生産」に関することを課題化します。新計画では、今回の御指摘いただいた内容を参考にし、表土流亡対策を中心とした持続的生産技術の推進について、関係機関と連携して取り組んで参ります。

課題 3. 夏秋トマトを中核とする競争力の高い野菜産地の育成

(対象：利根沼田農業事務所普及指導課)

- 1 3年間の活動結果を踏まえて次期計画では、得られた成果はさらに高いレベルへ、残された課題は少しでも改善できるよう努めます。
- 2 具体的で課題に即した適切な目標を設定します。

課題 4. ブランド米を核とした中山間地水田農業の永続的な発展

(対象：利根沼田農業事務所普及指導課)

- 1 管内全体に占めるブランド米の生産割合や受託作業面積など、相対的な数値を記して分かりやすい目標設定とします。また、現状の数値に基づいたより高い目標設定を行い、計画達成により管内水田農業にどういった波及効果が得られるかを明確にします。
- 2 後継者不足対策として、親元就農者や新規参入者が経営の合理化を図ることができるように、専業や複合経営など、営農形態ごとに収支や作業日数を示した経営モデルの作成を目指します。

課題 5. 無人航空機（ドローン）の空撮画像を利用した新しい農業普及

(対象：技術支援課普及指導室)

- 1 ドローンによる圃場センシング調査品目の拡大に向けた検討を進めます。
- 2 試験研究機関と連携によるドローンの効果的な活用の検討を進めます。